

令和4年度の 重点施策を紹介します

喫緊の課題である新型コロナウイルス対策に取り組むとともに、SDGsの考え方を踏まえ、誰一人取り残さない「高知市型共生社会の実現」に向けた取り組みや南海トラフ地震対策を柱として、総合計画後期基本計画に基づく第1次実施計画の施策を着実に推進します。

1 新型コロナウイルス対策

- 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を推進
- 中小企業等の事業継続に向けた支援として、宿泊する団体旅行の誘致、生産性向上のための設備取得や売上確保を図る広報の取り組みを支援、関東圏をターゲットとした独自の誘客プロモーションの展開
- 新型コロナウイルス感染症対応や少子化への対応に向けて、民営保育所・幼稚園等、放課後児童クラブおよび社会的養護施設に勤務する職員の処遇を改善
- 市立保育所の保育士の業務負担軽減や児童の安全確保の強化を図るためのICT機器等を導入

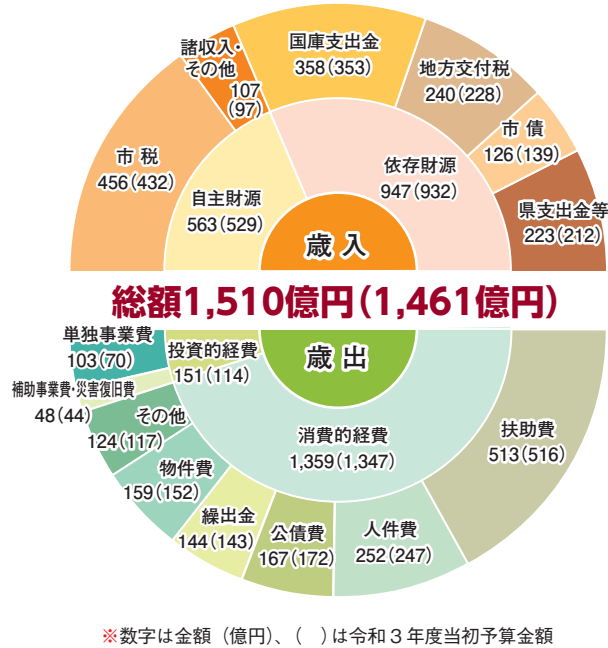
2 高知市型共生社会の実現

- 市民主体の地域づくりに対する支援として、市税1%還元に向けた取り組みを拡充
- 「福祉でまちづくり」を進める中心的役割を担う民生委員および協力員の報償費を充実
- 地区町内会連合会および単位町内会の地域力の底上げを図るため、町内会連合会に対する財政支援を拡充
- コミュニティ計画策定地域に対する補助金を増額するとともに、地域内連携協議会未設立地域への支援を拡充
- 介護、障害者福祉、児童福祉、生活困窮者の支援など、属性を越えた複合的な課題に対応する「包括的な支援体制」の構築を推進
- 「こうちみませ楽舎」を引き続き運営するとともに、新たに「地域おこし協力隊」を導入

3 南海トラフ地震対策

- 南海トラフ地震発生時における関係機関や他自治体職員、ボランティア等の外部支援の受け入れに備え、受援計画を策定
- 避難所環境対策としてマンホールトイレの整備を促進
- 老朽住宅が密集し、狭い道路が多い旭駅周辺地区の整備に伴う建物移転や街区工事の推進
- 慢性的な渋滞解消や高知駅へのアクセス向上を図り、災害拠点施設への輸送路確保を図る愛宕町北久保線（愛宕町工区）や曙町西横町線（中工区）などの街路整備を推進
- 断水被害の軽減を図るため、耐震性が不足する水道管路の耐震管等への敷設替えを促進

令和4年度一般会計予算



▶ 自主財源

- 市税…市民税や固定資産税、軽自動車税、法人市民税など
- 諸収入・その他…市の施設使用料や住民票などの交付手数料、保育料、寄附金などの収入

▶ 依存財源

- 国庫支出金…特定の事業に対して国から交付されるもの（定められた事業以外に使うことはできない）
- 地方交付税…地方財政の均衡と財源の確保を保障するために国が交付するもの（自由に使うことができる）
- 市債…市の施設や道路などを整備するための借入金
- 県支出金等…県から交付される補助金や国税から地方に配分される譲与税などの収入

▶ 消費的経費

- 扶助費…子育て支援や児童手当、障害者自立支援給付費、生活保護費など社会福祉に必要な経費
- 人件費…職員の給料・手当、議員報酬などの経費
- 公債費…市債（借入金）の元利償還金等
- 繰出金…国民健康保険事業などの特別会計に支出する経費
- 物件費…備品の購入費や光熱水費、郵送料、委託料、消耗品などの経費
- その他…学校等の修繕費や公益団体などへの補助金等の経費

▶ 投資的経費

- 補助事業費…国からの補助金により、道路や学校などの公共施設を整備する経費
- 災害復旧費…災害を受けた道路・農地などを復旧する経費
- 単独事業費…国からの補助金によらず、主に市が単独で道路や学校などの公共施設を整備する経費

令和4年度 高知市 予算

コロナに打ち克ち絆をつなぐ
「共生と安心のまちづくり」を目指して

令和4年度の予算が決まりました。
重点的に取り組む施策の概要をお知らせします。

令和4年度の予算規模

当初予算	令和4年度	令和3年度
一般会計	1,510.00	1,461.00
特別会計		
卸売市場事業	6.89	8.17
国民健康保険事業	353.08	359.37
収益事業	300.89	246.04
駐車場事業	3.30	4.17
国民宿舎運営事業	3.08	2.47
産業立地推進事業	2.66	1.54
土地区画整理事業清算金	0.01	0.62
へき地診療所事業	0.64	0.66
農業集落排水事業	3.46	3.63
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2.17	2.62
介護保険事業	328.66	326.30
後期高齢者医療事業	56.97	55.22
計	1,061.81	1,010.81
水道事業会計	138.64	119.21
公共下水道事業会計	219.01	208.19
総計	2,929.46	2,799.21
重複額※	151.58	151.70
全会計純計	2,777.88	2,647.51

※重複額とは、一般会計から特別会計への繰出金など、会計相互間での収入支出額のことです。

一般会計は前年度比3.4%増

高知市型共生社会の実現に向けた取り組みを進める一般会計予算は、前年度より49億円（3.4%）増の1,510億円となっています。これは、文化プラザの長寿命化改修工事や木村会館耐震補強整備工事などのハード事業に伴う投資的経費が前年度より36億円余り増加したことなどが主な理由です。

また、令和4年度末の市債（借入金）残高は、地方交付税の振り替え措置である臨時財政対策債を除くと145.8億円余りとなり、前年度より5億円余り減少する見込みです。今後も投資事業の平準化や先送りにより市債の発行を抑制するなど、財政の

健全性を確保しながら、総合計画後期基本計画に基づく第1次実施計画の施策を着実に進めます。

特別会計は前年度比5.0%増

特別会計予算は、前年度より51億円（5.0%）増加しています。

これは、収益事業において、コロナ禍の巣ごもり需要により車券の販売が伸びていることや、全日本選抜競輪（GI）を開催すること、高齢化に伴う介護保険事業や後期高齢者医療事業における給付費や被保険者数の伸びなどにより会計規模が増加することによるものです。

